

完了報告書（平成 24 年度）

提出者 郝 洪芳

提出年月日 2013 年 1 月 31 日

【プロジェクト名】

和文 国際結婚からアジアにおける親密圏と公共圏の再編成を考える

英文 Research on Reconstruction of the Intimate and Public Spheres in Asia through Marriage Migration

【メンバー構成】

研究代表者 郝 洪芳

幹事 郝 洪芳

メンバー Varvara MUKHINA、JIANG Meishan、TSENG Yu-chin、MATSUTANI Minori
TSENG Hsun-hui、TRANG PhạmThịThùy、LEE Hyunok、WU Yanhua

【ねらいと目的】 (600 字程度)

1980 年代から東アジア間の移民が増えてきており、その中にとりわけ移民の女性化が目目されてきた。移民の女性化はまず移民の中で女性の割合の増加があり、また女性の移民がエンターテイナーや、介護士、家事労働者、配偶者として移動し、ジェンダー化された労働をする場合が多いことを指している。この移民問題は受け入れ国社会にも送り出し国社会にも大きな影響を与えている。その間に、無論さまざまな社会問題も起きている。これらの問題を解決するために、国境を越えて、移住プロセス全体を見ることが必要だけではなく、違う視点から問題を捉える必要もある。これらを達成するには、国境を越えた違う視点から研究する人々の交流が不可欠である。

本プロジェクトはこのような背景で、配偶者移民、いわゆる結婚移民を中心に、受け入れ国の日本・台湾・韓国と送り出し側の中国大陸とベトナムの若手研究者を集めて、それぞれ違う視点で研究発表をする貴重な学術交流の機会として出来上がった。そのねらいは、東アジアの結婚移民問題を違う視点で研究している各国の若手研究者が学術交流し、お互い切磋琢磨することである。とりわけ、このような国境を越える問題は国境を越えた研究者たちの交流が研究を進める上で大変有益である。そして、このプロジェクトを通じて、若手研究者の研究成果を発表し、東アジアの国境を越えたこの結婚移民問題研究に新たな貢献をすることと、今後の更なる研究ネットワークと交流の形成のための土台を作ることが目的とした。

【活動の記録】

国際研究会開催

Social Changes through Cross-border Marriage Migration in East and Southeast Asia

日時：2012.12.8 [Sat] 14:30 – 16:00

2012.12.9 [Sun] 9:30-18:30

場所：京都大学文学部新館 地下大会議

内容： 12月8日 **Opening Session**

Chairperson: HAO Hongfang (Kyoto University, Ph.D. Student)

14:30 – 14:40 **Migration and policy change in Japan**

• Varvara MUKHINA (Kumamoto University, Ph.D. Student)

14:40 – 14:50 **Migration and policy change in South Korea**

JIANG Meishan (Seoul National University, Master. Student)

14:50 – 15:00 **Migration and policy change in Taiwan**

• TSENG Yu-chin (Essex University, Ph.D. Student)

15:00 – 16:00 Open Discussion

12月9日 **Morning Session**

Chairperson: MATSUTANI Minori (Kyoto University, Ph.D. Student)

9:30 – 9:40 **opening marks**

9:40 – 10:20 **The Ban of Marriage Brokerage in Taiwan: the State and Market Reconsidered**

• TSENG Hsun-hui (Columbia University, PD Fellow)

10:20 – 11:00 **Claiming rights or creating rights: cross-strait marital immigrants in Taiwan**

• TSENG Yu-chin (Essex University, Ph.D. Student)

11:00 – 11:40 **The connecting between countries in Social Policies for International Marriage: Case study Vietnam - Taiwan, Vietnam - Korean**

• TRANG PhạmThịThùy (University of Social Sciences and Humanities of Ho Chi Minh City)

11:40 – 12:20 **From a sending country to a receiving country:**

Research on Chinese marriage migrants in Japan and Vietnam marriage migrants in China HAO Hongfang (Kyoto University, Ph.D. Student)

12:20 – 12:30 **Open Discussion**

Afternoon Session

Chairperson: HAO Hongfang (Kyoto University, Ph.D. Student)

14:00 – 14:40 **Trafficking in woman? Or multicultural family? :**

contextual difference of commodification of intimacy

• LEE Hyunok (National University of Singapore, PD Fellow)

14:40 – 15:20 **A Study on the Process of Citizen Identity Formation of Marriage Migration: Focus on the Korean-Chinese and Han-Chinese women in capital area of South Korea**

| | |
|---------------|---|
| 15:20 – 16:00 | <ul style="list-style-type: none"> • JIANG Meishan (Seoul National University, Master. Student) <p>Acculturation and Identity of Brides from DPRK in Transnational Marriages-Based on Fieldwork in Shi Village</p> <ul style="list-style-type: none"> • WU Yanhua (Xiamen University, Ph.D. Student) |
| 16:00 – 15:10 | Break Time |
| 16:10 – 16:50 | <p>Distinguishing Cross-National and Transnational Marriage</p> <ul style="list-style-type: none"> • MUKHINA Varvara (Kumamoto University, Ph.D. Student) |
| 16:50 – 17:30 | <p>Work-Marriage Balance of Migrants: Case Study of Japanese Migrant Workers in Shanghai</p> <ul style="list-style-type: none"> • MATSUTANI Minori (Kyoto University, Ph.D. Student) |
| 17:30 – 18:00 | Comments by the Discussants |
| 18:00 – 18:25 | Open Discussion |
| 18:25 – 18:30 | Closing Remarks |



(会議の様子 1)



(会議の様子 2)



(みんなの集合写真)

【成果の概要】（800 字程度）

本シンポジウムでは、1980 年代や 1990 年代から東アジア・東南アジア間で行われている女性の婚姻による越境移動、いわゆる結婚移民を取り上げ、違った視点から研究を行っている各国の若手研究者たちが研究発表をし、議論を交わった。

結婚移民問題は各国の社会的変容を背景にし、移民した個人や家族と送り出し国・受け入れ国に影響を与えている。本シンポジウムに参加した若手研究者はそれぞれの側面からこの結婚移民問題について分析を行った。まず、ムヒナさんの報告ではよく使われている Cross-border marriage をもっと具体的に Cross-national marriage と transnational marriage を分けて考える必要があるのではないかと提示した。Jiang Mei-shan さんの研究報告はまさにこれを反映したように、同じ韓国人と結婚しても、中国漢民族の女性と中国朝鮮族の女性と生活適応上やアイデンティティ問題の違いを明らかにした。それから、Lee Hyunok さんは韓国における結婚移民たちの市民権問題を論じて、その背後にある国民国家の境界などを明らかにし、結婚移民の権利に関わる制度の状況を発表した。Tseng Yu-chin さんが似ているような制度の問題に直面している台湾における中国大陸の結婚移民たちがいかに自ら行動して、権利を獲得しようとしたのかを報告した。一方、Tseng Hsun-Hui さんは、台湾政府の仲介業者に対する規制に注目し、Pham Thi Thuy Trang さんは台湾と韓国におけるベトナム人の状況や結婚までの手続きなどを比較しながら報告した。そして、あまり研究されていない中国における非正規滞在者の北朝鮮からの女性配偶者の生活適応とアイデンティティについて Wu Yan-hua さんがフィールドワークデータを通じて明らかにした。最後に、筆者は中国東北部の特定地域に起きているいくつかの国を跨がる結婚移民問題の現状とその形成要因について報告した。これらの研究からわかるように、結婚移民問題は政府の政策や制度から、仲介業者のネットワーク、個人の生活適応やアイデンティティ変容まで多層的である。また、それぞれの側面がお互い影響し合っている。したがって、このようなシンポジウムを通して、同じ問題の違う側面からの研究をお互い報告しあい、コメントし合うことで、今後の研究に大いに役に立つ。さらに、国境を越えるこの毛来ん移民問題を送り出し国と受け入れ国の若手研究者がお互い交流し合い、補完し合うこともできた。今回のシンポジウムを通して、学術的な交流ができ、そのうえ、今後のお互い研究における協力の約束もした。これをきっかけにできあがった研究のネットワークが今後更なる発展し、東アジア・東南アジア間の移民問題研究に貢献できるだろう。

【通信欄】